

天皇盃 第27回都道府県対抗男子駅伝競走大会
皇后盃 第40回都道府県対抗女子駅伝競走大会
選手選考基準要項

(一財) 富山陸上競技協会 強化部

1 出場条件

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

(1) 出場資格

①競技者は、日本陸上競技連盟の2021年度登録者で、2008年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する男子競技者であること。

但し、在留外国人競技者のうち日本で生まれ、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者は出場できる。

②社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。

なお、出身中学校と出身高等学校の所在地都道府県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校のどちらの所在地都道府県からも出場することができる。

(2) チーム編成

①チームは監督1名、コーチ2名、競技者10名の合計13名とする。

なお、監督及びコーチについても、日本陸上競技連盟の2021年度登録者であること。

②競技者にはジュニア(A)3名以上、ジュニア(B)2名以上が含まれること。

〈注〉●ジュニア(A)とは2003年4月2日～2006年4月1日に生まれた競技者をいう。

●ジュニア(B)とは2006年4月2日～2008年4月1日に生まれた競技者をいう。

(中学1年生は出場できない)

※ジュニア(A)および(B)の競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。

(3) 競技規定

①第2・6区はジュニア(B)競技者を、第1・4・5区はジュニア(A)競技者を、第3・7区は社会人(大学生を含む)競技者を起用することとする。また、ふるさと競技者は1区間以内とする。

②参加申し込み後のエントリー変更は認めない。

但し、本大会の趣旨に鑑み、1、事故 2、疾病についてのみ原則として2名以内に限りエントリー変更を認める。

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

(1) 出場資格

- ①競技者は、日本陸上競技連盟の2021年度登録者で、2008年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する女子競技者であること。
ただし、外国籍競技者のうち日本で生まれ育った者で、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者はこの限りではない。
- ②社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。
なお、出身中学校と出身高等学校県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校どちらの所在地都道府県からも出場することができる。

(2) チーム編成

- ①チームは監督1人、コーチ2人、競技者13人の合計16人とする。なお、監督およびコーチについても、日本陸上競技連盟の2021年度登録者であること。
 - ②競技者にはジュニアA 4人以上、ジュニアB 3人以上が含まれること。
- [注] ●ジュニアAとは2003年4月2日～2006年4月1日に生まれた競技者をいう。
●ジュニアBとは2006年4月2日～2008年4月1日に生まれた競技者をいう。

(中学1年生は出場できない)

※ジュニアA・Bの競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。承諾書は全国女子駅伝事務局に送付すること

(3) 競技規定

- ①競技者の起用については、第3・8区にジュニアB競技者を、その他の区間にジュニアA競技者を最低3名起用すること。また、「ふるさと競技者」は2区間以内とする。
- ②参加申し込み後のエントリー変更は認めない。
但し、本大会の趣旨に鑑み、1、事故 2、疾病についてのみ原則として2名以内に限りエントリー変更を認める。

2 選考競技会

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ○富山カップ陸上競技大会 | ○ジュニアオリンピック陸上競技大会 |
| ○富山県陸上競技選手権大会 | ○富山県高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○富山県民体育大会第一部 | ○北信越高等学校陸上競技対抗選手権大会 |
| ○各地区学生陸上競技対校選手権大会 | ○全国高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○日本陸上競技選手権大会 | ○富山県中学校陸上競技選手権大会 |
| ○国民体育大会 | ○北信越中学校陸上競技選手権大会 |
| ○各地区実業団陸上競技選手権大会 | ○全日本中学校陸上競技選手権大会 |
| ○全日本実業団陸上競技大会 | ○日本学生陸上競技対校選手権大会 |
| ○富山県中学校通信陸上競技大会 | ○全国高等専門学校体育大会 |
| ○U20/U18日本陸上競技選手権大会 | ○北信越高等学校新人陸上競技大会 |
| ○各種公式競技会・記録会 | |

3 選手選出基準

①富山県代表選手として心身共に健全な選手を選考する。

②一般・ジュニアA(高校生)選手

- ・対象種目を、女子は3000m以上、男子は5000m以上のトラック種目とする。
- ・選考競技会の結果及び最高記録を参考に、強化部で総合的に判断し選考する。

・選出人数：男子 一般3名、ジュニアA(高校生)4名

女子 一般及びジュニアA(高校生)合わせて9～10名

③ジュニアB(中学生)選手

- ・対象種目を、女子は1500m以上、男子は3000m以上のトラック種目とする。
- ・選考競技会の結果及び最高記録を参考に、強化部で総合的に判断し選考する。

・選出人数：男子 3名、女子 3～4名

④富山県代表選手として相応しくない選手は選考しない。

4 選手選考

原案を強化部で練り、(一財)富山陸上競技協会駅伝選手選考委員会会議後、(一財)富山陸上競技協会理事会を経て、正式決定となる。正式決定後、所属長または本人宛に内定通知を行う。辞退する者は速やかに申し出ること。

5 確認事項

①内定後は、都道府県対抗駅伝競走大会を最重要大会として本大会に向け調整すること。

②県内の選手は、強化部が主催する練習会及び合宿に必ず参加すること。

参加しない選手は、内定を取り消す場合もある。

③本大会まで故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す場合もある。

④選考基準記録の有効期間は、2021年1月1日から11月26日(金)までとする。